

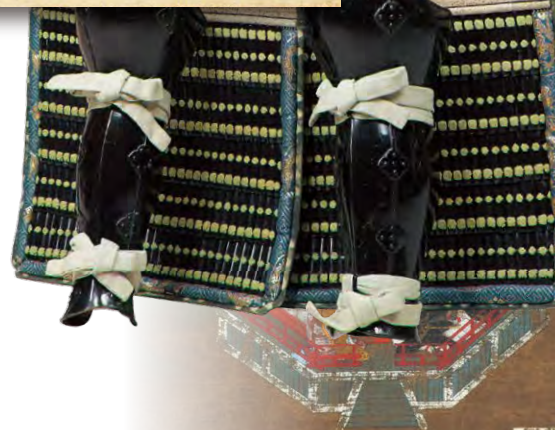
香雪美術館

所蔵品展

2017

藤原俊成「自筆書状」重要文化財指定記念

名白中中作し授受家
仙籍く而少自て我
つて中入所と在作
且年少し時冬も感
作法より年月作始
年亡乃力年春又傷
悲者非抑作
而云乃くも
一十年暮るる
此下つてくも
山根良頼と云
翌々鳴る也且
我握りて
作也無
三月六日
左舟舟殿



2017年
1月21日(土) ~ 2月26日(日)
休館日 月曜日
開館時間 午前10時 ~ 午後5時(入館午後4時30分まで)
観覧料 一般700(550)円、大高生450(350)円、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
主 催 公益財団法人香雪美術館 朝日新聞社
〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家丁12-1
電話 078-841-0002 <http://www.kosetsu-museum.or.jp/>



香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

藤原俊成「自筆書状」重要文化財指定記念

香雪美術館

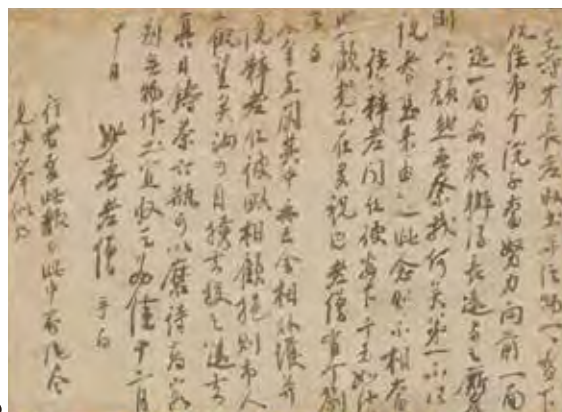
所蔵品展

2017

香雪美術館は、朝日新聞社を創業した村山龍平が収集した日本・東洋の古美術品などを収蔵する美術館として1973年に開館しました。所蔵品は重要文化財19点をはじめ、絵画（やまと絵、水墨画、浮世絵）、書跡（墨蹟、かな）、仏教美術（仏像、仏画）、茶道具（陶磁器、漆工）から武具（甲冑、刀剣）に至るまで幅広いジャンルです。

香雪美術館の「香雪」は、村山龍平の号です。美術にも深い関心を寄せ、岡倉天心たちが主宰した美術専門誌「國華」の経営を支援し、また実業家たちとの茶の湯の交流から近代の数寄者に名を連ね、茶道は敷内流を修めました。

今回の所蔵品展では、2016年に新たに重要文化財に指定された藤原俊成「自筆書状」三月六日 左少弁殿宛」とともに、「過去現在絵因果経」や「阿弥陀三尊像」、重要文化財 大慧宗杲「尺牘才長老宛」といった、近年修復の終わった絵画、書跡などを公開し、改めて香雪美術館の魅力を紹介します。



梅園会「講演会と茶会」

開催日：2017年2月12日(日)

開催時間：「講演」午後1時／「茶会」午後3時から

講演：「和歌に詠まれた四季」

公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫 常務理事

冷泉 貴実子 氏

定員：50名(応募多数の場合は抽選)

参加費：3,000円

※「香雪美術館 所蔵品展2017」展の入場料を含みます。

参加申込方法

往復はがきに住所・氏名(返信用にも)、電話番号を明記のうえ、下記宛先までお送りください。はがき1枚につき1名のみ申込みできます。申込み受付後、参加費事前入金のご案内を書面で連絡いたします。

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1

香雪美術館「梅園会」係

締め切り：2017年1月20日(金) 必着

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日、午後2時から学芸員によるギャラリートークを行います。

※ギャラリートークの聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。

表面【左下】交趾 花文三足香炉 中国・明時代 【中央】重要文化財 藤原俊成 自筆書状 三月六日 左少弁殿宛 鎌倉時代 【右】明黄系威肩白胴丸 具足 江戸時代 【背景】聖徳太子絵伝(部分) 鎌倉時代 /裏面 ①赤絵金襴手 玉取獅子文鉢 中国・明時代 ②青磁 酒会壺水指 中国・明時代 ③阿弥陀三尊像 鎌倉時代 ④重要文化財 大慧宗杲 尺牘 才長老宛 中国・南宋時代 ⑤古染付 葡萄欄文水指 中国・明時代 ⑥南蛮 筋水指 16世紀



【交通案内】
阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分
JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分
阪神「御影」駅よりバス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分
※美術館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用下さい。

香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1

Tel: 078-841-0652

<http://www.kosetsu-museum.or.jp>

次回展「熊谷守一 お前百まで わしゃいつまでも」
2017年3月11日(土)～5月7日(日) 休館日:月曜日